

令和3年 臨時会

第1回
第2回
第3回

令和3年第1回、第2回および第3回花巻市議会臨時会を開催しました。第1回臨時会では令和2年度花巻市一般会計補正予算の専決処分3議案と条例改正、一般会計補正予算それぞれ1議案を審議。また第2回臨時会では令和2年度一般会計補正予算の専決処分及び補正予算議案を審議。第3回臨時会では条例の一部を改正、令和2年度一般会計補正予算および令和3年度一般会計補正予算の3件について審議し、いずれも提案のとおり承認及び可決しました。

※補正予算の専決処分＝補正予算は議会の議決を経て決定しますが、緊急の場合、市長は議会の議決を経ないで補正予算を編成し執行する権限が地方自治法で認められています。この場合、市長は次の議会で専決処分した内容を報告し承認を得なければなりません。

◇令和3年第1回臨時会(2月2日)

審議した議案	内 容	審議結果
○令和2年度一般会計補正予算(第22号)の専決処分 14億9,992万8千円を増額	・イーハトーブ花巻応援寄付金(ふるさと納税)10億円の増額と返礼品関係予算4億9,992万8千円の増額 専決処分日 令和2年12月23日	承認
○令和2年度一般会計補正予算(第23号)の専決処分 2億円を増額	・大雪に伴う市道の除雪委託料を2億円増額。除雪予算は5億円を確保 専決処分日 令和3年1月6日	承認
○令和2年度一般会計補正予算(第24号)の専決処分 2億2,186万3千円を増額	・新型コロナウイルスワクチン接種に係る準備経費の計上、失業者生活見舞金及び除雪委託料の追加。除雪予算は7億円を確保 専決処分日 令和3年1月20日	承認
○花巻市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例	・令和3年度以降の返還免除型奨学金(はなまき夢応援奨学金)の貸与条件を緩和	可決
○令和2年度一般会計補正予算(第25号) 1億8,194万4千円を増額	・新型コロナウイルスワクチン接種事業、感染症対策経費の追加、医療ケア児等非常用発電機貸与事業費など	可決

◇令和3年第2回臨時会(2月12日)

審議した議案	内 容	審議結果
○令和2年度一般会計補正予算(第26号)の専決処分 2億円を増額	・大雪に伴う市道の除雪委託料を2億円増額。除雪予算は9億円を確保 専決処分日 令和3年2月8日	承認
○令和2年度一般会計補正予算(第27号) 2億9,429万4千円を増額	・新型コロナウイルスワクチン接種事業、中小企業持続支援事業、観光・物産事業者等緊急対策事業等、新型コロナウイルス感染症対策経費など	可決

◇令和3年第3回臨時会(3月24日)

審議した議案	内 容	審議結果
○花巻市介護保険条例の一部を改正する条例	・新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が減少した被保険者に対し、令和3年度中に納期限が到来する介護保険料の減免について特例を定める	可決
○令和2年度一般会計補正予算(第29号) 2億786万9千円を増額	・中小企業持続支援事業、観光・物産事業者等緊急対策事業など	可決
○令和3年度一般会計補正予算(第1号) 4,249万5千円を増額	・大雪により被害を受けた農業用ビニールハウス等へ補助する生産施設等整備事業、失業者支援事業、中小企業持続支援事業など	可決

自治体のデジタル化

Q 照井明子 議員

複数の自治体の情報システムを集約し共同利用・標準化する、国が進める自治体クラウド導入の可否を伺う。

A 市長

災害に備えて、データの安全性を確保する目的での外部センター管理運用・利用のクラウド化は調査検討している。

総務省が計画している基幹系17業務システムの共通化は、自治体コストの点から国が主導権を持ち開発することは歓迎する。採用するか否かは決めているわけではない。

市職員の休職

Q 若柳良明 議員

精神疾患による休職者の実態と今後の職場復帰者数、退職者数について伺う。

A 市長

イトーヨーカドー内の花巻市情報発信センターぷらっと花巻においてイベント活用や定期的な情報発信をしているが、ス

A 市長

平成23年度4人、24年度6人、25年度5人、26年度8人、27年度9人、28年度2人、29年度7人、30年度7人、令和元年度8人、2年度2月末で12人。10年間で実人数は43人となっている。復職している職員が14人、退職した職員が15人、復職したがその後退職した職員が3人となっている。

情報発信

Q 羽山るみ子 議員

分かりやすい情報の提供という点で各種情報を見える化し、市民のサークル活動などの紹介も含め、みんなが立ち寄りやすい場所に設置する考えはないか伺う。

A 市長

花巻市情報発信センターぷらっと花巻においてイベント活用や定期的な情報発信をしているが、ス

市民の家

Q 盛岡耕市 議員

本庁舎建設のため昭和45年に移築された市民の家は、耐震診断の結果、倒壊する可能性が高いとして休館している。今後の在り方を伺う。

A 市長

市民の家は耐震構造指標が極めて低い数値のため、利用停止としている。移築前は市庁舎としても使用されたことがあり、歴史的観点から整備し、保存すべきかどうか、市民や専門的な意見も聞きながら検討、調査を進める方向で考えている。

企業誘致

Q 佐藤 明 議員

企業誘致は市の活性化につながるものである。本市の産業団地の現状

および今後の計画について伺う。

A 市長

市内14カ所の産業団地のうち12カ所の分譲が完了。全体の分譲率は95%であり、残りは第2工業団地など約9ヘクタールで、引き合いはあるがコロナ禍で停滞している。新たな工業団地として花南地区の33ヘクタールを対象とした基本計画の策定、排水系統の調査を実施している。

多頭飼育崩壊

Q 照井省三 議員

犬・猫の多頭飼育の崩壊で、地域住民の生活環境が脅かされるといふことが起きているが、その要因について伺う。

A 市長

中部保健所に確認したところ、犬・猫の繁殖制限措置を実施しないことや、野良猫に対しての無責任な餌やりが主な要因

農業

Q 佐藤 明 議員

近年、高齢化による農業従事者の減少が著しい。新規就農者の確保に向けた募集、説明会など取り組みの成果について伺う。

A 市長

新規就農者の確保のため、JA花巻などで構成する「花巻ワンストップ就農相談窓口」で農地の確保、栽培技術の習得、補助事業の活用等の相談に対応している。実績は、平成30年からの3年間で17人が就農。令和3年度以降の就農や研修の予定者は13人である。